

社会資本総合整備計画 事後評価シート

歴史的資源を活用した魅力ある
住みよいまちづくり

平成27年3月

滋賀県大津市

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27年 3月 27 日

計画の名称	13 歴史的資源を活用した魅力ある住みよいまちづくり	交付対象	滋賀県大津市
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)		
計画の目標			

大津市志賀地区、北部地区及び中部地域にかけては、琵琶湖と比良比叡の山並みに囲まれた豊かな自然を抱え、世界文化遺産比叡山延暦寺をはじめ、近江八景のうちの4景を有するなど歴史的資源が数多く点在しているが、この恵まれた自然環境と豊富な資源を観光振興並びに商業振興に活用しきれておらず、地域への来訪者数も減少傾向にある。この豊かな自然と歴史的資源との共生を図りながら、市民との協働によって観光資源としての魅力を創出し、地域の活性化を図る。

中でも都心地区は、中心市街地活性化基本計画に掲げた「大津百町と琵琶湖を舞台とした暮らしと交流の創造都市へ」という基本理念の下に、旧東海道に縁のある歴史的資源を活用した地域の活性化に取り組んでいる。とりわけJR大津駅周辺地域については、住宅密集地の解消に伴う老朽建築物の建替えを促進するとともに、本市北部地域の中心地であるJR堅田駅周辺地域とあわせて主要路線の結節点において慢性的に発生している交通渋滞の解消を図るための都市基盤整備を推進し、来る人にも住む人にも優しいまちづくりを行う。また、県都大津の玄関口でもあることから、観光都市としての本市のイメージアップが図られるよう、地域住民と来訪者の交流の機会を設け、まちの活力創出へ繋げていく。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・市志賀地区、北部地区及び中部地域における観光客を8,603千人/年 (H.22) から8,688千人/年 (H.26) に増加 ・市志賀地区、北部地区及び中部地域における人口を183,699人 (H22) から191,950人 (H26) に増加 ・大津駅西地区における老朽建築物の除却率を7.1% (H22) から61.5% (H26) に改善 ・大津駅西地区周辺 (春日町及び御幸町) における生産年齢人口 (15歳から64歳まで) を398人 (H22.4月) から700人 (H26) に改善 ・大津駅西地区における不燃領域率を23.4% (H22) から40.1% (H26) に改善
-----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 市志賀地区 (小松、木戸、和邇、小野地区)、北部地区 (葛川、伊香立、真野、真野北、堅田、仰木、仰木の里、仰木の里東地区) 及び中部地域 (雄琴、日吉台、坂本、下阪本、唐崎、滋賀、藤尾、長等、逢坂、中央、平野地区) における1年間の観光客数を計測する。	8,603千人/年	8,654千人/年	8,688千人/年	
② 市志賀地区 (小松、木戸、和邇、小野地区)、北部地区 (伊香立、真野、真野北、堅田、仰木、仰木の里、仰木の里東地区) 及び中部地域 (雄琴、日吉台、坂本、下阪本、唐崎、滋賀、藤尾、長等、逢坂、中央、平野地区) における人口を計測する。	183,699人	188,650人	191,950人	
③ 大津駅西地区における老朽建築物の除却率を計測する。	7.1%	30.8%	61.5%	
④ 大津駅西地区周辺 (春日町及び御幸町) における生産年齢人口を計測する。	398人	347人	700人	
⑤ 大津駅西地区における不燃領域率を計測する。	23.4%	25.2%	40.1%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	13,191百万円	A	12,964百万円 (うち提案事業分423百万円)	B	0百万円	C	227百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C)/(A+B+C)	4.9%
-------	---------------	-----------	---	------------------------------	---	------	---	--------	----------------------------------	------

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期
事業担当課及び事業に関わる課 (観光振興課、堅田駅西口土地区画整理事務所、道路建設課、道路管理課、河川課) で、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果に至った原因を分析した。また、その検証結果を踏まえて今後のまちづくりの方針を検討した。	平成26年度 公表の方法 市公式ホームページ及び都市計画課の窓口での観覧

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
13-A-1	都市再生	一般	大津市	直接	大津市	雄琴地区都市再生整備計画事業	道路、公園、高次都市施設等 606ha	大津市							241	
13-A-2	都市再生	一般	大津市	直接	大津市	和邇地区都市再生整備計画事業	道路、高質空間形成施設等 400ha	大津市							35	
13-A-3	都市再生	一般	大津市	直接	大津市	堅田地区都市再生整備計画事業	道路、高質空間形成施設等 454ha	大津市							2,750	
13-A-4	都市再生	一般	大津市	直接	大津市	都心地区都市再生整備計画事業	道路、公園等 475ha	大津市							1,060	
13-A-6	住宅	一般	大津市	間接	大津駅西地区市街地再開発組合	大津駅西地区第一種市街地再開発事業	商業、住宅等 0.26ha	大津市							5,759	
13-A-9	街路	一般	大津市	直接	大津市	堅田駅西口地区土地区画整理事業(本堅田真野線外)	都計道路4路線、駅広、区画道路等 29.8ha	大津市							3,119	
										合計					12,964	

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
13-C-1	施設整備	一般	大津市	直接		大津市	旧竹林院再生事業	観光拠点施設の耐震改修	大津市						120		
13-C-2	高質空間	一般	大津市	直接		—	大津駅西地区景観計画策定	景観計画策定(L=240m)	大津市						10		
13-C-4	施設整備	一般	大津市	直接		大津市	皇子山総合運動公園陸上競技場改修事業	総合運動公園施設の改修	大津市						97		
											合計	227					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
13-C-1	世界文化遺産比叡山延暦寺の北玄関となる13-A-1及び13-A-3と南玄関となる13-A-4の3地区を都市再生整備計画事業で活性化を図ることから、これらに併せて比叡山延暦寺の門前町である坂本地区の観光拠点施設の再生を図ることによって一層の観光振興を図る。																
13-C-2	38-A'-8と併せて景観に配慮した魅力あるまちづくりを誘導する。																
13-C-4	13-A-4と併せて、施設の大規模改修により、公認陸上競技場として市や県、近畿規模の大会をはじめ、びわ湖毎日マラソンなど全国規模の大会を開催することにより、観光客の確保を図る。																
その他関連する事業																	
計画等の名称		歴史的資源を活用した魅力ある住みよいまちづくり(防災・安全)															
番号	事業種別	交付対象	要素となる事業名						市町村名 港湾・地区名					全体事業費 (百万円)	備考		
38-A'-5	都再区画	大津市	大津駅西第一地区土地区画整理事業						大津市					2,360			
38-A'-7	住宅	大津市	大津駅西地区住宅市街地総合整備事業						大津市					1,370			
38-A'-8	街路	大津市	大津駅西第一地区土地区画整理事業((都)春日町線)						大津市					1,906			
38-C'-3	高質空間	大津市	春日町線ファサード整備事業						大津市					90			

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

A'	5,636百万円	B'	0百万円	C'	90百万円	$A(\text{提案分})+C)/((A+A')+(B+B')+(C+C'))$	3.9%
----	----------	----	------	----	-------	---	------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・事業を通じて、志賀地区、北部地区、中部地域それぞれのもつ地域資源を活かしたまちの魅力の創出・向上を図った結果、観光客数、人口共に増加したが、人口については大津駅西地区における土地区画整理事業の未完了などにより、目標達成には至らなかった。 ・また、J R大津駅周辺地域においては、土地区画整理事業や市街地再開発事業の実施により、老朽建築物の除却率と不燃領域率は目標を達成した。生産年齢人口についても目標達成には至っていないものの、着実に増加しており、大津の玄関口として地域の魅力が向上している。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（志賀地区、北部地区、中部地域における観光客数）	最終目標値	8,688千人/年	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・「雄琴地区」と「和邇地区」においては、都市再生整備計画事業が平成22年度に既に完了しており、雄琴地区における観光交流施設や足湯施設の設置、和邇地区における“しとぎ祭り”や“ふれあい志賀夏まつり”の実施など、各地区の観光資源を活かした取組みが観光客の増加に結びついている。 ・また、「堅田地区」における都市再生整備計画事業、「都心地区」における都市再生整備計画事業及び土地区画整理事業については一部事業が未完了であるものの、都心地区におけるまちなみ整備事業や、堅田地区における景観協定の締結など、地域の歴史的資源・観光資源の魅力を活かした取組みが観光客の増加に結びついている。 ・今後は、堅田地区や都心地区において遅れている事業を進めていくことで、観光客の更なる増加を図る。
		最終実績値	(推計値) 9,957千人/年		
	指標②（志賀地区、北部地区、中部地域における人口）	最終目標値	191,950人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	(推計値) 185,845人		
	指標③（大津駅西地区における老朽建築物の除却率）	最終目標値	61.5%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	62.3%		
	指標④（大津駅西地区周辺における生産年齢人口）	最終目標値	700人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	660人		
	指標⑤（大津駅西地区における不燃領域率）	最終目標値	40.1%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	40.3%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備等により道路環境が向上したことで、市民生活における安全性及び快適性が向上した。 ・住民参加型の事業の実施により、地域住民のまちづくりへの参加意識の向上とまちづくりの担い手となる人材の育成が図れた。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・遅れの生じている事業の進捗に鋭意に取り組む。 ・また同時に、一部事業における住民参加を通じて向上した、地域住民のまちづくりに対する参画意識などを今後も最大限に活用することで、地域の活性化及び安心・安全で住みよい環境の整備を更に図っていく。 					

(参考様式3) (参考図面) 活力創出基盤整備 (記載例)

